

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公開番号】特開2016-185226(P2016-185226A)

【公開日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2016-061

【出願番号】特願2015-66723(P2015-66723)

【国際特許分類】

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

A 6 3 B 71/06 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/00 C

A 6 3 B 71/06 T

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 B 5/10 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月26日(2018.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装着者の運動ペース情報を測定する運動ペース情報測定部と、

前記運動ペース情報測定部を有する他装置と近距離無線通信を行うための通信部と、

前記他装置の運動ペース情報測定部で測定された他装置運動ペース情報を、前記通信部を介して前記他装置から取得して記憶する他装置運動ペース情報記憶部と、

前記記憶した他装置運動ペース情報と、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報とに基づいて、自装置の装着者の運動ペースを管理する管理用情報を出力する管理用情報出力部と、

前記管理用情報を表示する表示部と、を備え、

前記管理用情報出力部は、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも速いときは、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを下げるよう促すことを指示する情報を前記管理用情報として出力し、自装置の運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも遅いときは、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを上げるよう促すことを指示する情報を前記管理用情報として出力する運動情報測定装置。

【請求項2】

請求項1記載の運動情報測定装置であって、

前記他装置が複数あり、前記管理用情報出力部は、複数の前記他装置の運動ペース情報測定部で測定された運動ペース情報から選択された運動ペース情報を前記他装置運動ペース情報として設定し、該他装置運動ペース情報と自装置の前記運動ペース情報とに基づいて前記管理用情報を出力する運動情報測定装置。

【請求項3】

装着者の運動ペース情報を測定する運動ペース情報測定部と、前記運動ペース情報測定部を有する他装置と近距離無線通信を行うための通信部と、を有する運動情報測定装置を用いた運動管理方法であって、

前記他装置の運動ペース情報測定部で測定された他装置運動ペース情報を、前記通信部を介して前記他装置から取得して記憶する他装置運動ペース情報記憶ステップと、

前記記憶した他装置運動ペース情報と、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報とに基づいて、自装置の装着者の運動ペースを管理する管理用情報を出力する管理用情報出力ステップと、

前記管理用情報を表示部に表示する表示ステップと、を備え、

前記表示ステップでは、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも速いときに、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを下げるよう促す指示が表示され、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも遅いときに、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを上げるよう促す指示が表示される運動管理方法。

【請求項 4】

コンピュータに、請求項3記載の運動管理方法の各ステップを実行させるための運動管理プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の運動情報測定装置は、装着者の運動ペース情報を測定する運動ペース情報測定部と、前記運動ペース情報測定部を有する他装置と近距離無線通信を行うための通信部と、前記他装置の運動ペース情報測定部で測定された他装置運動ペース情報を、前記通信部を介して前記他装置から取得して記憶する他装置運動ペース情報記憶部と、前記記憶した他装置運動ペース情報と、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報とに基づいて、自装置の装着者の運動ペースを管理する管理用情報を出力する管理用情報出力部と、前記管理用情報を表示する表示部と、を備え、前記管理用情報出力部は、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも速いときは、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを下げるよう促すことを指示する情報を前記管理用情報として出力し、自装置の運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも遅いときは、自装置の前記運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを上げるよう促すことを指示する情報を前記管理用情報として出力するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の運動管理方法は、装着者の運動ペース情報を測定する運動ペース情報測定部と、前記運動ペース情報測定部を有する他装置と近距離無線通信を行うための通信部と、を有する運動情報測定装置を用いた運動管理方法であって、前記他装置の運動ペース情報測定部で測定された他装置運動ペース情報を、前記通信部を介して前記他装置から取得して記憶する他装置運動ペース情報記憶ステップと、前記記憶した他装置運動ペース情報と、

自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報に基づいて、自装置の装着者の運動ペースを管理する管理用情報を出力する管理用情報出力ステップと、前記管理用情報を表示部に表示する表示ステップと、を備え、前記表示ステップでは、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも速いときに、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを下げるよう促す指示が表示され、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報よりも遅いときに、自装置の前記運動ペース情報測定部で測定される運動ペース情報が前記他装置運動ペース情報と同じになるように、自装置の装着者に運動ペースを上げるように促す指示が表示されるものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

トレーナのペース 4min/km 脈拍数100/min

あなたのペース 6min/km 脈拍数70/min